

【協議事項】

1 警察職員の特別派遣について

（警備部）

警察本部から「本年6月4日及び5日、沖縄県において開催される「沖縄国際海洋博覧会50周年記念事業企画展、海-その望ましい未来」の御覧及び地方事情御視察のため、天皇皇后両陛下が御来県されることに伴い、沖縄県公安委員会から本県公安委員会に対して援助の要求がなされたので、御審議をお願いする。」旨の説明があった。

公安委員から「特別派遣は、車両も行くのか。」旨の発言があり、警察本部から「当県からの輸送手段として車両を使用する。」旨の説明後、本件は了承された。

【報告事項】

1 5月臨時県議会の結果及び6月定例県議会の日程について

（総務部）

警察本部から「今回の臨時県議会は、副議長の選出及び常任委員会委員の選任等が行われ、副議長に自民党県議団の中尾正幸議員が選出された。警察委員の選任については、自民党県議団から5人、民主県政県議団から3人、公明党から1人、新政会から1人の計10人が選任され、委員長には自民党県議団の永川俊彦議員、副委員長には同じく自民党県議団の林泰輔議員が選任された。6月定例県議会の会期は6月10日から7月4日までの25日間の予定となっている。」旨の報告があった。

2 令和7年度警察費当初予算案について

（総務部）

警察本部から「今年度予算については、既に2月定例議会において暫定予算が成立しているが、今回は、この暫定予算を含む年間の所要額を計上した当初予算を6月定例議会に上程するものである。警察費当初予算額については、令和7年度の総額は1,491億4,000万円余で、前年度比82億8,600万円余の増となっている。その内訳については、人件費は前年度比34億9,300万円余の増、物件費は前年度比47億9,200万円余の増となっている。主な内容としては、福岡県警察運営指針関連予算、重点施策、施設事業、警察基盤の充実強化としている。6月10日の定例議会に本予算案を上程し、予算特別委員会において審議された後、本会議で採決される予定である。」旨の報告があった。

公安委員から「民事訴訟提起の支援として弁護士費用が掲載されているが、前年度の実績

はあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「今回、新たに導入するものである。これまで、民事訴訟の調査費の予算は付いていたが、今回は着手に伴う費用を計上している。」旨の説明があった。

公安委員から「警固界限のこども・若者を守る協議会というのは、どういうものか。」旨の発言があり、警察本部から「協議会の構成は、NPO法人、県警察、福岡県及び福岡市となっており、協議会での情報共有をはじめ、少年たちの心理的知見を有する方からの講演をいただくなどの活動をしていく予定である。」旨の説明があり、警察本部から「協議会は、福岡県の青少年育成課やこども福祉課とも連携していくことにしている。」旨の説明があった。

3 特定商取引に関する法律違反事件の検挙について

(生活安全部)

警察本部から「早良警察署ほか2警察署及び生活経済課は、マッチングアプリを利用して知り合った顧客に対し、投資などによる生活向上のアドバイスなどを受けることができる会員契約が本来の目的であるにもかかわらず、その目的を秘して飲食店に誘い出し、その後、会社事務所などで同契約を勧誘するなどした特定商取引に関する法律違反事件について、5月22日、福岡市城南区居住の会社員の男性を逮捕し、共犯被疑者4人を任意送致した。」旨の説明があった。

公安委員から「県民の皆様も、このような事案があるということを知っておくべきであり、しっかりと捜査と防犯をお願いする。」旨の発言があった。

4 北九州市小倉北区において発覚した死体遺棄事件被疑者の逮捕について

(刑事部)

警察本部から「小倉北警察署及び捜査第一課は、4月18日、北九州市小倉南区所在の資材置き場において、被害者の死体を土中に埋没させ遺棄した死体遺棄事件について、5月21日、北九州市小倉北区居住の会社役員の男性を逮捕し、同月23日、共犯被疑者1人を逮捕した。」旨の説明があった。

公安委員から「暴力団と関係のある事件なのか。」旨の発言があり、刑事部長から「暴力団とは関係ないものとみて捜査をしている。」旨の説明があった。

5 詐欺事件の検挙について

(刑事部)

警察本部から「南警察署及び捜査第二課は、株式投資名目にクレジットカード等をだまし取ろうと考えて、令和7年2月、被害者それぞれに対して、クレジットカード等を契約して預けてもらえば、株式投資で利益を出すことができる旨を言い、被害者からクレジットカード等をだまし取った詐欺事件について、関係箇所の捜索差押など、所要の捜査を行い、福岡市南区居住の無職の男性ほか3人を順次逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者と被害者の関係性はどうなっているのか。」旨の発言があり、警察本部から「被害者は、知人を介して被疑者を紹介されている。」旨の説明があった。

6 賭博場開張凶利等事件被疑者の逮捕について

(暴力団対策部)

警察本部から「八幡西警察署ほか5警察署、生活保安課、捜査第一課及び北九州地区暴力団犯罪捜査課は、5月16日、北九州市小倉北区所在のマンション居室において賭博場を開張し、又は開張を容易にし、賭客らをしてさいころを使用し、金銭を賭け、「タブサイ」と称する賭博をさせ、利益を得ていた賭博場開張凶利・常習賭博事件について、五代目工藤會傘下組織幹部ほか4人を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「客はどのくらいの人数だったのか。」旨の発言があり、警察本部から「今回の場合は、5人が賭博に関わっていた。」旨の説明があった。

公安委員から「取引は全て現金で行われているのか。」旨の発言があり、警察本部から「現在、捜査中である。」旨の説明があった。

7 九州管区内部通訳人競技会の実施について

(暴力団対策部)

警察本部から「本競技会は、九州管区警察局と共催で実施するものであり、管区内各県の警察部内通訳人の士気高揚、語学力向上及び通訳技術の共有を図るとともに、通訳業務に対する理解増進等を図ることを目的として実施する。本日午後2時から午後5時までの間、6階講堂で開催し、競技者については、各県代表の中国語担当部内通訳人8人であり、トーナメント形式で実施する。」旨の報告があった。

公安委員から「競技者は警察官に限っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「今回の競技者は警察官のみである。」旨の説明があった。

公安委員から「九州管区内には、中国語以外の通訳人もいるのか。」旨の発言があり、警察本部から「本県には18言語、延べ136人の部内通訳人がいる。」旨の説明があった。

8 道路運送法違反事件被疑者の逮捕について

(交通部)

警察本部から「中央警察署、福岡空港警察署、交通機動隊及び交通捜査課は、1月30日、法定の除外事由がないのに運送料金を徴して運送する契約の下、旅客3人を自家用普通乗用自動車に乗車させた上で、相当区間を運送し、もって自家用自動車を有償で運送の用に供したという道路運送法違反事件について、5月21日、福岡市中央区居住の会社役員の男性ほか1人を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「取締りは難しいのか。」旨の発言があり、警察本部から「地道に取締りを継続していくことに加え、アプリを利用していると思われることから、アプリの解明も同時にやっていく必要がある。」旨の説明があった。

9 サイバーインシデント共同対処訓練の実施について

(警備部)

警察本部から「今回の訓練は、サイバーインシデント発生時における被害通報タイミング、証拠保全、被害拡大の防止などの初動対処について、サイバー攻撃の標的となるおそれのある事業者と警察が共同で訓練することにより、相互に対処能力の向上を図るもので、参加者については、重要インフラ事業者9分野13人のセキュリティ担当者と、12警察署のサイバー攻撃対策担当者を予定している。」旨の報告があった。

公安委員から「参加者はどうやって決めているのか。」旨の発言があり、警察本部から「県警では、サイバー攻撃対策協議会を設置しており、現在、92企業が参加している。その企業からの希望を踏まえ、選定をしている。」旨の説明があった。

公安委員から「民間企業はサイバーインシデントが発生した場合、直ぐに警察に通報しようという意識は少なく、まず対策をどうするかを検討する。このような訓練をやらないと警察に報告するという機運は高まらないかもしれない。」旨の発言があり、警察本部から「管理者対策は常にやっているところではあるが、このような大きな訓練を継続して実施することにより意識を高めていこうと考えている。」旨の説明があった。